



# たかしま takashima

広報たかしま 2006.12.1 発行

Takashima 2006 Recemder No.32



「さあ、何がでてくるかな～」  
子どもたちの目がキラキラと輝きます。

【「おいでやす近江今津」での紙芝居にて】

## CONTENTS 目次

市長への手紙から	2~4
タウンピックアップ	5~8
市長日記・シリーズ環の郷	9
教育委員会Information	10・11
みんなで子育て、親育ち！地域で子育て、親育て！	12・13
健康生活してますか？	14・15
まちネタ写真館	16・17
そうだ、図書館に行こう！	18・19
みんなのページ	20・21
情報お知らせ版	22~25
文化情報	26・27
病院・警察	28
窓口・納税	29
行事カレンダー	30・31



Home Page Address  
<http://www.city.takashima.shiga.jp>  
Mail Address  
t-info@city.takashima.shiga.jp

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課  
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町1-6番地 ☎074925-8130  
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>  
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

## 高島市 歴史散歩 No.24

### 継体大王にまつわる伝承とその遺跡

高島市と関係の深いことで知られる継体大王(天皇、オホド王)は、『日本書紀』によると、507年に河内の樟葉(現在の枚方市)で即位したと伝えられ、来年2007年は即位から1500年という節目の年にあたります。

高島市には、継体大王誕生の地としての伝承が残されています。『日本書紀』によると継体大王の父の彦主人王は、応神天皇の子孫で、近江国高島郡の「三尾の別業」に住んでいたときに越前国坂井郡三国(現在の坂井市)の振媛を妃に迎え、そこで継体大王が生まれたといわれています。

継体大王誕生にまつわる伝承地は、主に高島市南部に複数伝えられていて、振媛が継体大王ほか2児を無事に出産したときにもたれた石と伝えられる「もたれ石」は、安

曇川町田中の馬場区と陵区が接するあたり、現在三尾神社旧跡とされる場所にありま。

また、継体大王誕生のときの胞衣(胎盤)を埋めたと伝えられる胞衣塚が、安曇川町三尾里区の南端に位置しています。これは直径約11.5メートル、高さ約2.5メートルの円墳で、古墳の上に生えている松は「ごんでんの松」と呼ばれています。



胞衣塚

また、押戸の水尾神社も、その拝殿が振媛の産所となったと伝えられる神社で、さらにその北本殿は、彦主人王が振媛の安産を祈った仮社跡に建てられた社であるともいわれています。



(文化財課)



### 編集後記

この時期はおいしい農産物もたくさんありますが、美しい景色もご馳走です。(朽木小入谷にて)

